

シリーズ

元気です

67

『いなば牛』の名を広めたい

和牛博覧会の 県代表に決定！

「和牛博覧会 in とっとり」第9回全国和牛能力共進会（鳥取県大会）が、10月11日から14日まで、県西部を中心に行われます。全国和牛能力共進会（以下、和牛全共）は、5年に1度、全国の優秀な和牛（黒毛和種牛）がその優劣を競う全国大会で、『和牛のオリンピック』とも呼ばれています。

雄牛、雌牛の和牛改良の成果を競う「種牛の部」と、肉質を競う「肉牛の部」がある。

り、各道府県から選抜された約500頭の和牛が、それぞれの部で頂点をめざします。

この和牛全共に向けた鳥取県最終予選会が8月20日に行われ、河原町の谷口拓也さんの牛2頭が、「肉牛の部」で鳥取県代表に選ばれました。代表になったのは、第8区（若雄後代検定牛群）で「谷北国」第9区（去勢肥育牛）で「北福」。

「人間ができることは限られていますが、肉質向上に向けて最後の仕上げを力一杯やります。あとは、牛が頑張ってくれて、しっかりと寝て



谷口牧場

谷口 拓也 さん

Takuya Taniguchi

くれるのを祈るだけです」と谷口さん。和牛のオリンピックピック出場に向け、今まさにラストスパートです。

牛舎に クラシック音楽

「牛は言葉を話しませんから、体調管理に気を使います。日課である朝夕のエサやりの時に、食べ方や顔つきなど、

一頭一頭、いつもと違うことはないか、牛の様子をチェックします。これが一番大事な仕事です」と谷口さんは言い切ります。

ご両親と一緒に経営している谷口牧場には、現在約280頭の牛がいます。その



《10月の番組ガイド》

..... 鳥取市行政番組

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週火・金・土

週2回の番組で、鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷家庭ごみの有料指定袋制度
 - ▷住民自治基本条例（仮称）「中間まとめ」
 - ▷学力向上に向けて
 - ▷地区公民館の活用策と今後のあり方「中間まとめ（案）」
- 火曜日は、週末に行われたイベントなどを中心に放送します。



鳥取市指定家庭用ごみ袋

静止画文字情報『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週金・土



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット
自主制作番組

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

西条柿の出荷や恒例の「とっとりきのご祭り」の様子、市内各地の豊作を祝う催事的话题をお伝えします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

収穫の時期を迎え、各地で盛んに行われているまちとむらの交流や、子どもたちの農業体験の様子を紹介します。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

お知らせ

いなばびよんびよんネットの番組が地上デジタルテレビでご覧になれます。設定や操作方法など、詳しくは下記にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばびよんびよんネット ☎ (0857) 22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組はホームページでも紹介しています。

<http://www.inabapyonpyon.net>

2ch

谷口牧場で、品質の良い肉を作るため、独自の試みとして行っているのが、牛舎に音楽を流すことです。牧場の敷地に近づく、クラシック音楽が聞こえてきます。その理由を、「牛が落ち着いてエサを食べ、ゆっくり寝られる環境をつくるため、クラシック音楽を流しています。無音の状態だと、トラックの走る音や雷など大きな音がすると、牛は驚いてストレスから餌を食べなくなったり、眠らなくなったりすることがあるんです」。そして、「音に慣れることで、落ち着くことができる

上位入賞で

『いなば牛』を鳥取名産に

県東部から和牛全共に出品するのは、残念ながら谷口さんの牛だけになってしまいました。「一緒に予選を戦ってきた東部の牛は、種畜の区（繁殖用の牛）も肥育の区（肉牛）

も素晴らしい牛です」と谷口さんは強調します。

県東部のJA鳥取いなば管内で肥育され、品質規格など厳しい認定基準をクリアしたものを『いなば牛』といいます。県外からの評価は高まっています。市内への流通量はまだまだ少ないのが現状です。最近やっと、県東部の精肉店、飲食店で、『いなば牛』の名前を目にするようになりました。

「カニは冬しか食べられないけど、肉は年中食べられます。こんなにおいしい『いなば牛』が、県外ばかりに流れ

ていくのはもったいない。新しい鳥取名産として定着させたいですね」と目を輝かせます。「そのためには、常においしい肉を卸さないといけないういう重圧もかかります。それが、逆にやりがいにも繋がっています」と谷口さん。最後に、和牛全共に向けての抱負を尋ねると、「県東部の代表として頑張りたいです。『いなば牛』の名を高めるには、良い成績を上げることも大切だと思っています。本番では上位入賞をめざします」と力強く意気込みを語られました。